

1-4. 中部景観区域

区域の概要

- 中部区域は、区域の西側に京阪本線に沿って緑の段丘崖が南北に走り、区域の東側の台地上では市街地の中に大規模な工場が立地しています。また、枚方の歴史を今に伝える多くの史跡や集落が点在する一方、新たな土地利用によりランドマークもつくりだされています。
- 今後は新旧のランドマークを活かした景観を形成することが求められます。



■ 大規模工場

緑豊かな大規模な工場が地域の景観を高めています



■ 百済寺跡

枚方八景にも選定されている美しい松林

景観形成イメージ



■ 区域の景観資源

淀川の四季（枚方八景）、百済寺跡の松風（枚方八景）、穂谷川、天野川、牧野車塚古墳、禁野車塚古墳、渚院跡、御殿山神社、小倉集落、渚集落、阪今池公園、車塚公園、交北公園、堂山公園、殿山百済寺道、中宮平和ロード、御殿山アート坂、中央図書館、枚方市民病院、関西外国語大学など

地域特性を活かすために



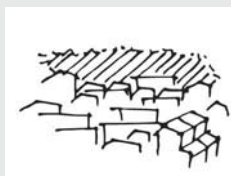
■緑や文化財のつらなり

御殿山神社～禁野車塚古墳にかけては坂のまちなみや文化財が連なる。



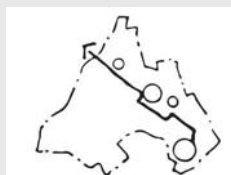
■百済寺跡公園

百済寺跡公園は地域のオアシス。枚方のもうひとつの顔。



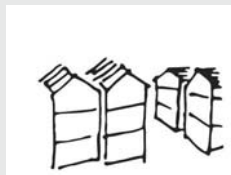
■斜面地の緑

丘陵、斜面地の緑が連続し、市街地にうるおいをもたらしている。



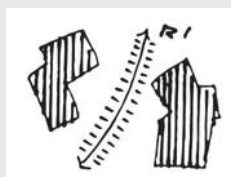
■穂谷川

穂谷川は、枚方の中央を流れ、文化・レクリエーションと緑の拠点をつないでいる。



■既存市街地の建て替え

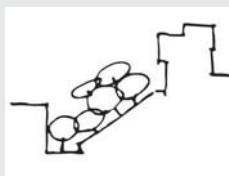
文化住宅が3階戸建住宅に建て替わるなど、既存市街地での建て詰まり感がある。



■幹線道路沿道

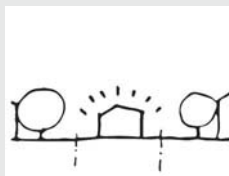
幹線道路沿いに商業施設が立ち並んでいる。大規模な工場や工業団地が多く立地している。

まちの自然や文化を活かす



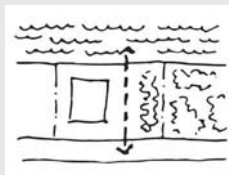
■坂や斜面緑地のあるまちの魅力を高める

斜面地の緑を保全・育成し、高低差を活かすことにより、まちの魅力を高める。



■まちの文化や歴史を大切にする

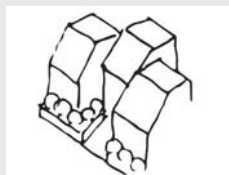
文化財などの周辺では、それに配慮した計画を行う。



■川の水や緑を取り込む

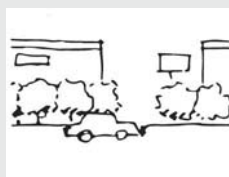
川に向かって開かれた計画とし、川の水や緑を活かすように工夫する。

うるおいのある景観をつくる



■うるおいやゆとりをもたせる

敷地の前面に少しでも植栽できる空間を確保する。



■緑の帯をつくる

工場や幹線道路沿道の商業施設では広告物を整え、緑を前に出し連続させる。